

Workspace ONE UEM APNs 更新ガイド

Workspace ONE UEM 2011 Web UI ベース

2020 年 12 月 24 日
株式会社ウィザース

改訂履歴

ver.	発行日	改訂履歴
1.00	2013 年 11 月 20 日	初版発行
2.00	2014 年 3 月 7 日	第二版発行
3.00	2014 年 8 月 20 日	第三版発行
4.00	2015 年 1 月 14 日	第四版発行
4.01	2015 年 5 月 28 日	第四版更新版発行
5.00	2015 年 7 月 14 日	第五版発行
6.00	2016 年 1 月 25 日	第六版発行
7.00	2016 年 7 月 19 日	第七版発行
8.00	2016 年 10 月 1 日	第八版発行
9.00	2017 年 4 月 24 日	第九版発行
10.00	2018 年 1 月 18 日	第十版発行
11.00	2018 年 8 月 21 日	第十一版発行
12.00	2019 年 1 月 25 日	第十二版発行
13.00	2019 年 11 月 6 日	第十三版発行 Workspace ONE UEM 1909 版
14.00	2020 年 7 月 10 日	第十四版発行 Workspace ONE UEM 2005 Web UI ベース版
15.00	2020 年 12 月 24 日	第十五版発行 Workspace ONE UEM 2011 Web UI ベース版

※バージョン 9.4 より、コンソールの名称が " AirWatch Console " から " Workspace ONE UEM Console " に変更されました。

目次

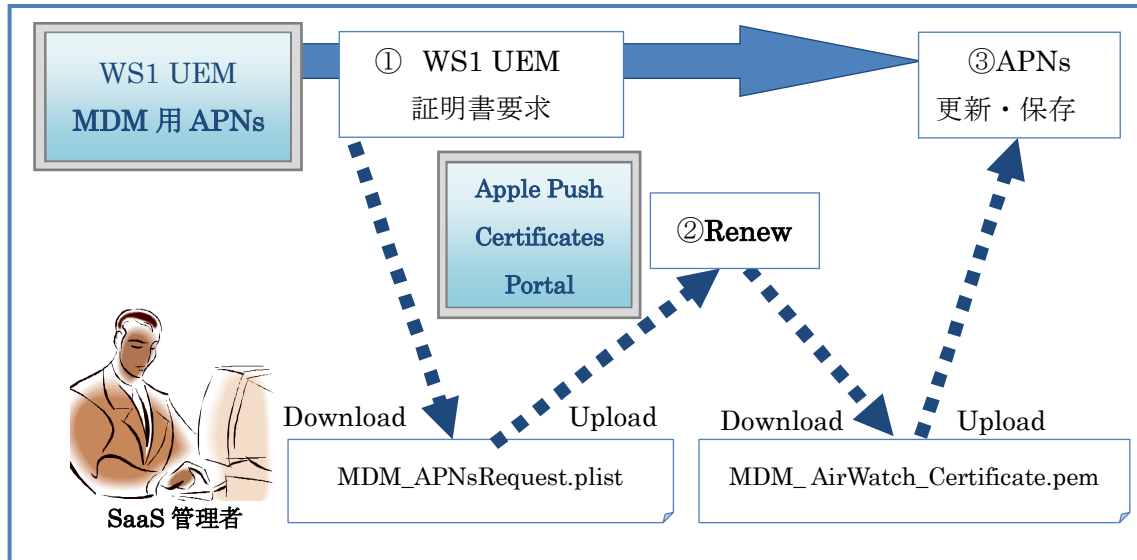
1	本書について	1
2	APNs 更新作業についての概要説明	2
2.1.	APNs 更新作業の流れ	2
2.2.	APCP 利用時の注意	2
2.3.	APNs とは	2
2.4.	APNs 更新作業がなぜ必要か	3
2.5.	有効期限が切れた時に必要な処理	3
3	APNs 更新作業	4
3.1.	APNs 有効期限の確認	4
3.2.	APNs 設定画面	5
3.3.	証明書要求のダウンロード	6
3.4.	Apple Push Certificates Portal へサインイン	7
3.5.	APNs 証明書の保存	10
4	APNs 更新後の確認作業	13
4.1.	デバイスの動作確認	13
4.2.	APNs 証明書の ID(発行先)確認	15

1 本書について

Workspace ONE UEM MDM 機能用 APNs (Apple Push Notification Service) を更新する手順について説明します。APNs は iOS デバイス (iPhone、iPad、iPod Touch) へ情報やコマンドを送る時に必要な証明書です。Workspace ONE UEM SaaS の管理者は、**APNs を 1 年ごとに更新する必要があります**。なお、iOS デバイスのご利用予定がない場合は、本書に記載されている設定は必要ありません。

2 APNs 更新作業についての概要説明

2.1. APNs 更新作業の流れ



- ① Workspace ONE UEM 管理コンソールで「証明書要求」を実行
- ② APCP (Apple Push Certificates Portal) で「証明書」を Renew して更新
- ③ 更新した証明書を Workspace ONE UEM 管理コンソールへ登録

2.2. APCP 利用時の注意

APCP での作業時に、Internet Explorer は使用しないでください。

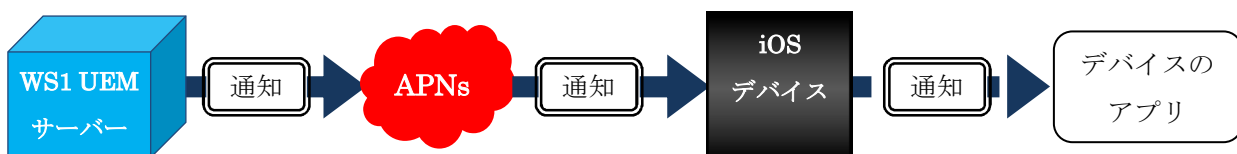
問題が生じる場合があります。利用可能な Web ブラウザは下記の通りです。

- Chrome
- Firefox
- Safari

2.3. APNs とは

APNs とは、Apple Push Notification Service の略称であり Apple 社が作成したサービスのことで、iOS 3.0 のリリースとともに開始されました。

iPhone/iPad/iPod Touch などの iOS デバイスが MDM サーバーとやり取りするにはこの APNs に接続可能な状態である事が必須です。



※iOS 用アプリケーションが APNs からの通知を受信するには、登録が必要です。

重要

Apple 社は下記のように、APNs 通知の配信を説明しています。
APNs 通知の配信は「ベストエフォート型」で、保証はありません。

2.4. APNs 更新作業がなぜ必要か

iOS デバイスを Workspace ONE UEM へ加入すると、デバイスへ「APNs に関する証明が含まれた MDM プロファイル」がインストールされます。それら証明書の有効期限は 1 年なので、定期的な更新が必要です。

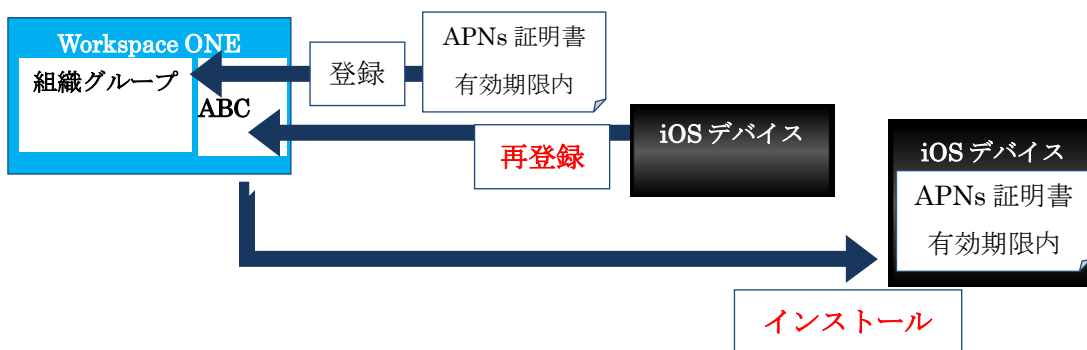


2.5. 有効期限が切れた時に必要な処理

APNs は有効期限が切れると失効します。iOS デバイスは APNs からのコマンドを受信できなくなり、Workspace ONE UEM ではデバイスを管理することができません。

失効した APNs の機能を有効へ戻すには、以下の処理が必要となります。

- ① APNs の更新を行う (デバイス再加入の必要無し)
- ② APNs の有効期限が失効していない組織へ再加入を行う



3 APNs 更新作業

作業前に、Workspace ONE UEM 管理コンソールにログインします。

※ログインの手順等の詳細は別途 [Workspace ONE UEM 管理コンソールガイド\(入門編\).pdf](#) をご参照下さい。



3.1. APNs 有効期限の確認

グループと設定 > すべての設定 > デバイスとユーザー > Apple > MDM の APNs で確認します。

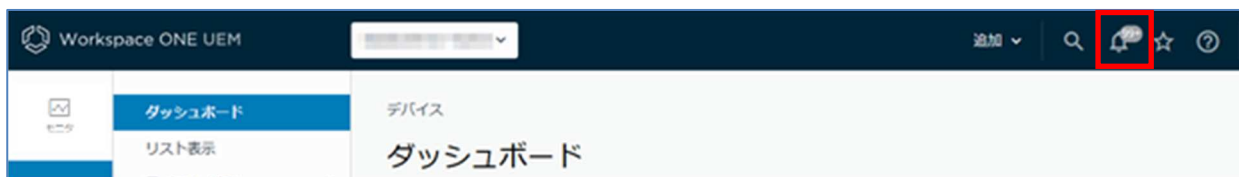


重要

期限が迫ると赤字で表示されます。

APNs 有効期限の通知

Workspace ONE UEM 管理コンソールにログイン後、画面右上の通知をクリックします。



※APNs の有効期限(30 日前)が近づくと、通知アイコン(バッジ)が表示されます。

APNs の失効対象組織グループ情報及び失効日情報一覧が表示されます。

3.2. APNs 設定画面

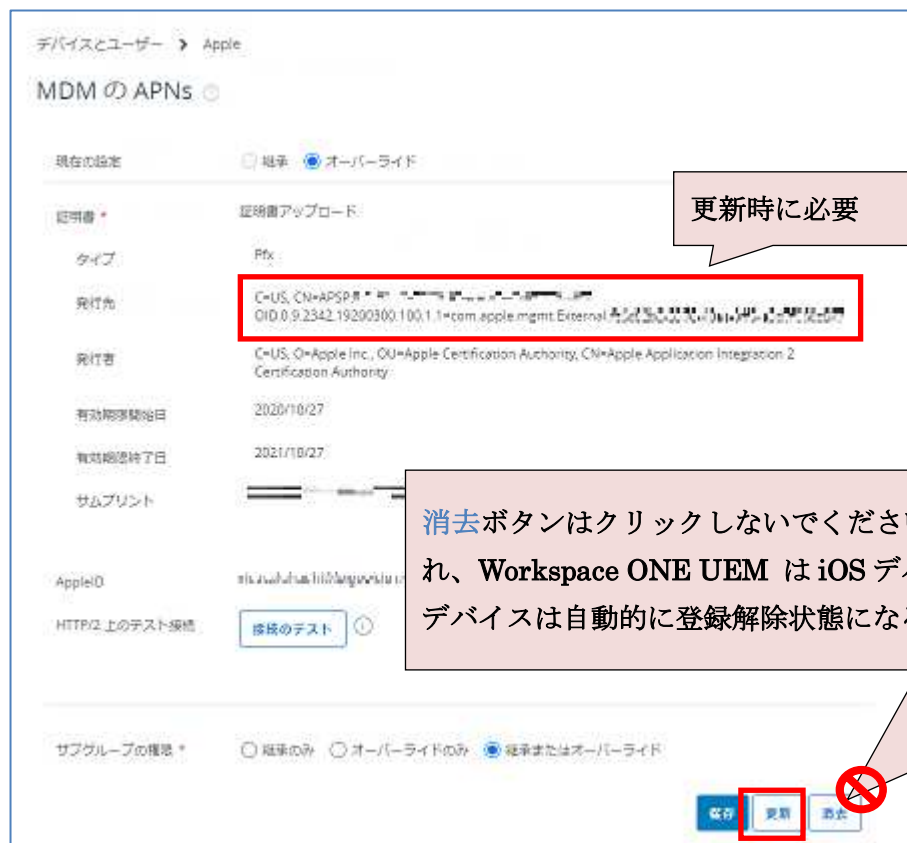
グループと設定 > すべての設定 > デバイスとユーザー > Apple > MDM の APNs
で確認します。

MDM 用の APNs を選択すると、以下の画面が表示されるので、更新をクリックします。

重要

必ず当画面のスクリーンショットを保存してください。

→ 3.4 Apple Push Certificates Portal で、発行先の ID を確認する場合があります。

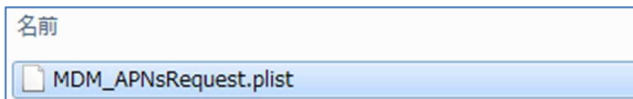


3.3. 証明書要求のダウンロード

- 1) `MDM_APNsRequest.plist` をクリックして、証明書要求をダウンロードします。



- 2) `MDM_APNsRequest.plist` をローカル PC 任意の場所へ保存します。



- 3) **APPLE のサイトを開く** をクリックすると、APCP のサイトが表示されます。

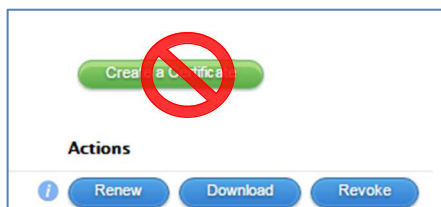


3.4. Apple Push Certificates Portal へサインイン

- 1) Apple Push Certificates Portal (以降、APCP と表記) へは、Apple ID の資格情報 (パスワード, 二要素認証) を利用してサインインを行います。
- 2) ※下記画面が表示されない場合、ID とパスワードを見直すか、F5 をクリックして下さい。


項目 (* 必須)		設定する値
①	Apple ID*	前回の証明書作成時に使用した Apple ID を指定してください。他の ID で APNs の処理を行うと、Workspace ONE UEM は iOS デバイスを管理できなくなります。
②	パスワード*	上記 Apple ID に紐づくパスワードを入力します。
③	2 ファクタ認証	ご利用の Apple ID が 2 ファクタ認証を利用している場合は、受信した確認コードを入力します。

※APCP のボタンの機能



Create a Certificate	新しい証明書を作成します。今回は使用しません。
Renew	APNs の期限を更新します。
Download	証明書をダウンロードします。
Revoke	証明書を削除します。ご注意ください。

2) 前回作成した証明書の **Renew** をクリックします。

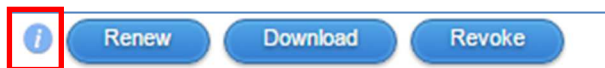
Service	Vendor	Expiration Date*	Status	Actions
Mobile Device Management	AirWatch	Jun 6, 2017	Active	 Renew Download Revoke

※証明書が複数ある場合は、次の項目で判断します。

Service	Mobile Device Management
Vendor	AirWatch (Workspace ONE UEM の旧称)
Expiration Date	→ 3.1 APNs 有効期限の確認で確認した有効期限終了日と同じであること (時差により APCP が前日の場合があります)

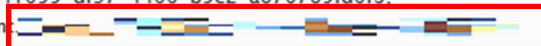
上記3項目が同じ場合は次の方法で確認します。

① **Renew** ボタンの左にある「*i*」のアイコンをクリックします。



② **Subject DN**:に記載されている **com.apple.mgmt.External** 以下の文字を確認

→3.2 APNs 設定画面で保存したスクリーンショットの発行先と同一であることを確認後、**Renew** をクリックします。

Serial Number : 7b699dd8a0054ad5
Subject DN : C=US, CN=APSP:c7541055-df97-4400-b5e2-a670765fd0f3,
UID=com.apple.mgmt. 
Notes :

Cancel Update Note



- 3) **ファイルを選択** をクリックします。

Renew Push Certificate

Enter your Certificate Signing Request, signed by your third-party server vendor to renew the following push certificate.

Service: Mobile Device Management
Vendor: AirWatch

Notes

Vendor-Signed Certificate Signing Request

ファイルを選択 選択されていません

Cancel Upload

テキストボックスを有効活用する事を推奨しています。
※全角文字(2バイト文字)は使用不可

- 4) 3.4 証明書要求のダウンロードの項番 1) で取得した **MDM_APNsRequest.plist** が選択されていることを確認し、**Upload** をクリックします。

Vendor-Signed Certificate Signing Request

ファイルを選択 MDM_AP...equest.plist

Cancel Upload

- 5) 要求が承認されました。**Download** をクリックし APNs 証明書 (.pem ファイル) のダウンロードを行います。

Confirmation ✓

You have successfully created a new push certificate with the following information:

Service: Mobile Device Management
Vendor: AirWatch
Expiration Date: [calendar icon]

Manage Certificates Download

保存先は任意のフォルダーを指定します。

3.5. APNs 証明書の保存

- 1) Workspace ONE UEM 管理コンソールへ戻り、[次へ](#) をクリックします。



- 2) [アップロード](#) をクリックし、3.4 Apple Push Certificates Portal へログインの項番 5) で取得した MDM_AirWatch_Certificate.pem のアップロードを行います。



- 3) [ファイルを選択](#) でファイルをアップロード後、[保存](#) をクリックします。



- 4) Apple ID へ APCS で入力した ID を入力して、保存をクリックします。

デバイスとユーザー > Apple

MDM の APNs

ステップ 1 完了
ステップ 2 要求を完了

Apple からの応答をアップロードしてください。ファイル名は「MDM_AirWatch_Certificate.pem」としてください。

Apple 社発行の Workspace ONE UEM MDM 証明書 (.pem) *

AppleID *

- 5) 4桁のセキュリティ暗証番号の入力を行います。

制限された操作 - APNs 証明書の変更

APNs 証明書の変更処理を実行しようとしています。以下のすべての情報を確認してからセキュリティ暗証番号を入力して実行してください。

AirWatch は APNs 証明書を使用することにより、Apple デバイスと連携できます。この組織グループでアップロードされた現在の証明書に対する変更を続行すると、証明書内に異なるトピックがある場合、AirWatch は、現在加入しているすべてのデバイスと連携できなくなります。

この操作を元に戻すことはできません。また、AirWatch がこれらのデバイスを再度管理するには、再加入させる必要があります。

既存の証明書

タイプ	Pfx
有効期限開始日	2017/11/02
有効期限終了日	2018/11/03
サムプリント	-----BEGIN CERTIFICATE----- -----END CERTIFICATE-----

証明書アップロード

タイプ	Cert
有効期限開始日	2018/06/21
有効期限終了日	2019/06/21
サムプリント	-----BEGIN CERTIFICATE----- -----END CERTIFICATE-----

セキュリティ暗証番号:

セキュリティ暗証番号をお忘れですか?

6) 正常に保存された事を確認します。

デバイスとユーザー > Apple

MDM の APNs

正常に保存されました

現在の設定 継承 オーバーライド

証明書 *

タイプ	Pfx
発行先	C=US, CN=APSP-100.0.9.2342.19200300.100.1.1=com.apple.mgmt.External:100.0.9.2342.19200300.100.1.1
発行者	C=US, O=Apple Inc., OU=Apple Certification Authority, CN=Apple Application Integration 2 Certification Authority
有効期限開始日	2020/12/24
有効期限終了日	2021/12/24
サムプリント	

AppleID: 100.0.9.2342.19200300.100.1.1

HTTP/2 上のテスト接続

サブグループの権限 *

継承のみ オーバーライドのみ 継承またはオーバーライド

重要

「サブグループの許可」が「継承またはオーバーライド」であるか、必ず確認して保存してください。証明書をアップロードして保存後、「サブグループの許可」が「オーバーライドのみ」になっている場合があります。「オーバーライドのみ」ですと、サブ組織グループは APNs を継承しません。そのサブ組織グループに登録中の iOS デバイスは、APNs 失効時と同じ状態になり、Workspace ONE UEM で管理できなくなります。

4 APNs 更新後の確認作業

作業前に、Workspace ONE UEM 管理コンソールにログインします。

※ログイン手順等は別途 **Workspace ONE UEM 管理コンソールガイド(入門編).pdf** を参照願います



4.1. デバイスの動作確認

1) APNs 証明書が正しく更新されている事を確認します。確認には iOS デバイスを利用します。お手元に iOS デバイスをご用意ください。

デバイス > リスト表示 で Workspace ONE UEM に加入済みのデバイスの詳細リスト画面を表示します。用意した iOS デバイスのフレンドリ名をクリックします。



2) **ロック** をクリックしロックコマンドを実行します。本コマンド実行前に、当該デバイスのロックを解除してください。



- 3) 実際にデバイスにロックがかかることを確認します。
 その他 をクリックして **トラブルシューティング** をクリックします。



デバイスロックに対するイベントを確認します。

イベントログ						
重要度	デバイス	ユーザー	ソース	モジュール	カテゴリ	イベント
お知らせ	[デバイスアイコン]	[ユーザーアイコン]	デバイス	デバイス	コマンド	デバイスロック確認
お知らせ	[デバイスアイコン]	[ユーザーアイコン]	サーバ	デバイス	デバイス	デバイスロック要求

重要

以下の事象 (いずれか) の場合、APNs 証明書の更新に失敗している可能性があります。

- ・ 該当デバイスでデバイスロックがかからない
- ・ 上画面で「デバイスロック確認」の表示がない

この場合は、弊社サポートデスクまでご連絡ください。

4.2. APNs 証明書の ID(発行先)確認

- 1) デバイス > デバイス設定 > デバイスとユーザー > Apple > MDM の APNs で表示される
①APNs 証明書の ID(発行先)を確認します。



- 2) iOS デバイスの②APNs 証明書の ID (トピック)を確認します。
設定 > 一般 > デバイス管理 > デバイスマネージャ > 詳細 > MDM Settings を選択



以下であることを確認します。

1. ①②の赤枠の ID が同じである
2. APNs の有効期限が更新されている

これらでない場合、Workspace ONE UEM は iOS デバイスを管理できなくなりますので、**弊社サポートデスクまでご連絡ください。**

なお、APNs 証明書の ID が一致しない要因としては以下が考えられます。

- ・前回と違う AppleID を使用して APNs を更新した。
- ・同じ AppleID だが、複数ある他の APNs を使用して更新をした。
- ・同じ AppleID で、新しい APNs 証明書を作成した。

Workspace ONE UEM APNs 更新ガイド

Workspace ONE UEM 2005 Web UI ベース

ver. 15.00 2020 年 12 月 24 日

ご注意事項

- この文書に記載された製品の仕様ならびに動作に関しては、各社ともにこれらを予告なく改変する場合があります。
- 本文中にあるシステム名、製品名、およびロゴ等は各社の商標または登録商標です。